

< ランチセミナー >

料理研究家 枝元なほみさんによる講演会



遺伝子組み換えや添加物など、食材を通して「食」の大切さをお話いただきます。

日時:2015年1月18日(日) 10:00~15:00
場所:上目黒住区センター 第2会議室
参加費:500円(生活クラブ消費材の軽食付)
持ち物:筆記用具
定員:20名
講師:枝元なほみ 料理研究家

枝元なほみ(えだもと なほみ)プロフィール

神奈川県横浜市生まれの料理研究家。明治大学文学部英米文学科卒業。1981年劇団転形劇場の研究生になり、役者をしながら無国籍レストランで8年働く。劇団解散後、フリーの料理人になる。

女性誌や新聞、テレビ、ラジオなどでアイデアあふれる料理を紹介。農業や食育のイベントなどで各地をまわるうち、<食>を考えるには農業や漁業などの生産の現場を支えることが必要だと思えるようになる。現在は、身近で希望の持てることから始めようと、山芋の球芽である<むかご>を流通にのせようと試行錯誤している。(http://mukago.jp)



ホームレスの自立を支援する雑誌「ピックアップ日本版」に、隔号しレシピとエッセイを連載中

< 講習会 >

避難所HUG訓練

H...hinanjo (避難所)
U...unei (運営)
G...game (ゲーム)

避難所HUG訓練とは・・・

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどのように対応していくかを模擬体験するゲームです。

日時:2015年3月中旬頃
場所:目黒区内
参加費:500円程度
主催:目黒・生活者ネットワーク

予告

※詳細は決まり次第、HPでお知らせいたします。



カンパのお願い

活動を支えるためにカンパでのご支援をよろしくお願いします。同封の振り込み用紙をご利用下さい。1,000円以上のカンパを下さった方には、東京の情報掲載月1回発行の「生活者通信」(1,000円/年)を2016年1月までお届けします。

生活者ネットワークの3つのルール

- ①最長3期で交代。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。
- ②議員報酬は市民の政治活動資金に活かし、お金の流れは公開します。
- ③選挙はカンパとボランティアで行います。

「どこでもつながる」って怖い～講師は電磁波問題市民研究会事務局長の久大保貞利氏～

「イスラエルの人には脳腫瘍が多いのです」こんな言葉から始まった電磁波学習会。長期に渡り、内戦に苦しんでいる国と脳腫瘍の関連は、携帯電話だといいます。理由は戦いのため固定電話より携帯電話を利用するからだとのこと。日本でも携帯電話などの普及率は100%を超え、女子高校生の使用時間は1日平均6時間を超えており、他人事ではありません。

携帯電話は電子レンジとほとんど同じ強さの電磁波を出し、電子レンジを耳に当てているのと同じことなのです。電磁波過敏症で苦しんでいる方も多く、人によってはその病状は深刻です。もし、携帯電話での通話中に耳の辺りが熱くなると感じた方は過敏症の出始めを疑った方がよいとのこと。しかし、もっと怖いのが「基地局」です。電磁波は弱くても24時間照射、避けることができず、被曝量は携帯電話の量を超えています。自身の生活環境をチェックしてみることが必要です。



室井 泰子

電磁波測定器と講師執筆の本2冊を貸し出し中です



電磁波は太陽光やエックス線を含め、あらゆるところに存在しますが、最近では電気機器の発達により、人類が進化の過程で体験したことのない周波数や変調方式の電磁波をあびる機会が多くなりました。正しく知って対策を取りたいものです

【編集後記】男子大学生と一緒に2～3歳児の保育のボランティアをする機会があった。彼らはびっくりするほど自然に、とてもうまく子どもたちと関わっていた。そして、子どもたちも楽しそうに過ごしていた。将来、彼らが父親になった時、イクメンという言葉が無くなっているかもしれないと思った。(真理)